

氏名	谷山真規子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3700 号
学位授与の日付	平成 20 年 6 月 30 日
学位授与の要件	医歯学総合研究科生体制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)

学位論文題目	Atrial Fibrillation in Patients With Brugada Syndrome Relationships of Gene Mutation, Electrophysiology, and Clinical Backgrounds (ブルガダ症候群患者における心房細動と遺伝子変異、電気生理学的、臨床的関連の検討)
--------	--

論文審査委員	教授 成瀬 恵治 教授 佐野 俊二 准教授 大内田 守
--------	-----------------------------

学位論文内容の要旨

ブルガダ症候群患者において、しばしば臨床現場にて心房細動が認められる。このためブルガダ症候群患者では、心室同様、心房における電氣的異常の存在が考えられる。しかし、ブルガダ症候群における心房細動発症と遺伝子異常、電気生理学的、臨床的背景の関連性についてはまだよくわかっていない。このため、ブルガダ症候群患者において自然発症の心房細動が遺伝学的 (SCN5A 遺伝子変異)、臨床的背景 (失神発作、心室細動、突然死の家族歴)、電気生理学的指標 (心房不応期、心房内伝導時間、連続心房興奮、心房細動誘発) において、ブルガダ症候群の重症度にどう関与しているか検討した。自然発症の心房細動は、心房細動発症のない患者群と比べると、失神発作、心室細動発生と良く相関していた。SCN5A の遺伝子変異は心房内伝導時間の延長、心房細動の誘発と相関していたが、自然発症の心房細動や、他の臨床的重症度背景とは相関していなかった。自然発症の心房細動はブルガダ症候群において、臨床的により重症であり、心室細動発生を予測する因子となりうると示唆された。

論文審査結果の要旨

ブルガダ症候群患者において、しばしば心房細動が認められるが心房細動発症と遺伝子異常、電気生理学的、臨床的背景の関連性についてはまだよくわかっていない。本研究では心房細動が遺伝学的、臨床的背景、電気生理学的指標において、ブルガダ症候群の重症度にどう関与しているか検討した。自然発症の心房細動は、心房細動発症のない患者群と比べると、失神発作、心室細動発生と良く相関していた。SCN5A の遺伝子変異は心房内伝導時間の延長、心房細動の誘発と相関していたが、自然発症の心房細動や、他の臨床的重症度背景とは相関していなかった。自然発症の心房細動はブルガダ症候群において、臨床的により重症であり、心室細動発生を予測する因子となりうることを示した価値ある業績である。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。